

一般社団法人ラテンアメリカ協会

2024年度定時会員総会

資料



一般社団法人 ラテンアメリカ協会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 120A(1 階)



一般社団法人 ラテンアメリカ協会

第12回定時会員総会 次第

日時 2024年 6月25日(火)16:30～17:30

場所 外務精励会大手町俱楽部

東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI大手町ビル2階

1. 開 会

2. 審議事項

第1号議案 2023年度事業報告書の件……【報告事項】

第2号議案 2023度決算書類承認の件……【決議事項】

第3号議案 2024年度事業計画の件……【報告事項】

第4号議案 2024年度收支予算の件……【報告事項】

第5号議案 理事・監事選任の件 ……… 【決議事項】

3. その他

4. 閉会

一般社団法人ラテンアメリカ協会

2024度定時会員総会 議案説明書

<p>第1号議案 2023年度 事業報告書</p> <p>【報告事項】</p>	<p><u>定款の規定に基づき、「2023年度事業報告書」は理事会で承認済。</u></p> <p>会員総数は期初の372に対し33増の405団体・個人。内訳は、法人会員が4社増の77社、個人会員16名増251名、在外会員11名増43名、学生2名増8名、他は変わらず。</p> <p>事業活動では、講演会・セミナーは2023年度を通じ協会主催27回、共催・後援が6回の計33回と、2022年度の26回（主催24回、共催・後援2回）より7回多く、参加者も協会主催で1,572名（前年度1,437名）、共催・後援が549名（前年度288）となった。</p> <p>「新春懇談会（駐日中南米大使館代表招待）参加者106名」を2月28日に開催。今回始めて「日本・中南米国會議員連盟」の会長以下関係者を招待した。「ラテンアメリカ・サロン（駐中南米日本国大使招待）同74名」は3月6日に開催された。</p> <p>4半期に1回開催されるラテンアメリカ関連団体連絡会議、ラテンアメリカ・カリブ研究所主催の大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラムは全て対面で開催した。</p> <p>米国インターナショナル・ダイアログ（IAD）との第9回共催セミナーが2023年10月25日にPublic Meeting（同時参加者152名）として開催された。季刊誌「ラテンアメリカ時報」も予定通り発刊された。</p>
<p>第2号議案 2023年度 決算書類承認</p> <p>【決議事項】</p>	<p><予算比：収支計算書より></p> <p>収入について、予算1,341.5万円に対し決算は1,420.2万円。</p> <p>会員費は予算比34万円増となった。</p> <p>予算比大きく異なる項目として、「新春懇談会」「ラテンアメリカ・サロン」（以下イベント2件）を含む講演会・セミナー収入について、イベント2件の参加費の収入及び参加費見合い分の支出は予算上（収入が増えれば支出も増え相殺される考え方）見込まなかったが、実際にはイベント2件で59万円の収入（及び見合いの支出増）があった。</p> <p>一方リモートによる講演会への非会員の参加費収入を予算10万円と見込んでいたが5.7万円にとどまり、合計64.7万円となった。フォーラム収入は新たに賛助金（年間5万円）に応じて頂いたフォーラムメンバー企業の支払い分が増加した。雑収入ではIAD共催セミナーの通訳を使わなかったのでIADから補填される通訳費30万円が不要となり、収入減（但し、同支出も同額減）。予算で見込んでいない「異業種懇談会」収入7.7万円並びにIAD共催セミナーのIADからの米ドル建てコンサルテーション料支払いの円安効果もあり、計15万円増となり、結果、予算比約15万円の減少にとどまった。</p> <p>支出の内、事業費について予算712万円に対し決算は773.6万円の61.6万円増となっ</p>

	<p>た。この内、10万円を超える増加では、謝金が時報・WEB管理関連などで約27万円増、雑費でイベント2件の予算として見積もっていない59万円の参加費増に見合う支出増があり、この項目で約51万円の支出増があった。尚、政策フォーラム経費について、2023年度予算策定時は雑費に支出見込みを計上していたが、これをフォーラム経費として取り出すことにし、会場費及び弁当代の予算35万円の内、会場費をメンバー企業の会議室利用によりゼロに抑えることができ、実質弁当代のみの支出となり、予算比21.6万円の支出減となった。</p> <p>支出の内、管理費については予算697万円、決算631.8万円と65.1万円の減となつた。10万円を超える現象では、旅費・交通費が昨年同様約20万円で、予算比約28万円の支出減、又、備品費支出については支出は発生しなかった。事務員用在宅勤務時のPC2台購入費用は一括資産計上の上、今年度で償却した。</p> <p>この結果、支出計は予算1,409万円に対し、1,405.4万円とほぼ予算通りであった。事業活動収支は予算67.5万円の赤字のところ、決算では14.8万円の黒字となった。ただし、PC2台の一括償却により、当期収支は13.3万円の赤字となり、予算の67.5万円の赤字を約54万円下回った。</p>
<p>第3号議案 2024年度 事業計画 【報告事項】</p>	<p><u>定款の規定に基づき、「2024年度事業計画」は理事会で承認済。</u></p> <p>4年前の「2019年度事業計画」で承認された当協会の3コア事業、即ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ラテンアメリカ情報の集積・発信 (Information) ②ラテンアメリカ情勢等の研究・提言 (Think Tank) ③出会いと交流の場の提供 (Networking) の充実強化 <p>の実施6年目。</p> <p>2022年度半ばから導入した次の5つのワーキング・グループ (WG) での検討をベースに常務理事会での協議を経て事業の推進を図って来た。その結果、講演会の開催頻度が高まり、異業種懇談会の再開など実現した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①渉外・ネットワーク拡大WG ②Webサイト充実・改善WG ③講演会・セミナー等イベント企画WG ④「ラテンアメリカ時報」編集・企画WG ⑤ラテンアメリカ・カリブ研究所WG
<p>第4号議案 2024年度 収支予算 【報告事項】</p>	<p><u>定款の規定に基づき、「2024年度収支予算」は理事会で承認済。</u></p> <p><2024年度予算/2023年度実績比：収支予算書></p> <p>事業活動収入は2023年度実績比約60万円の減（2023年度予算比19万円増）と想定している。</p> <p>収入の内、「会費」の前提是2023年度予算/実績と略同額（法人・個人各2口/1口減）と想定。「講演会・セミナー」は全てリモート方式を想定し収入は前年度実績並みとする（イベント2件の参加費収入と同相当の支出【2023年度は59万円】は見込みます）。</p> <p>それ以外の収入は2023年度予算或いは2023年度実績と同等と見込んでいる。</p>

	<p>事業費支出についても2023年度予算或いは2023年度実績と同等と見込んでいる。IADセミナーが海外開催となる場合、これに伴う旅費の増加は協賛金の収入増により相殺できるよう努力する前提となっている。</p> <p>管理費支出は2023年度予算と同額としている。</p> <p>この結果、事業活動支出では2023年度予算比約70万円増/決算比75万円増とした。</p> <p>以上より、収支差額が120万円の赤字となる予算案（2023年度実績比106万円の赤字増（2023年度予算比52万円の赤字増）となっている。</p>
<p>第 5 号議案</p> <p>理事・監事選任</p> <p>【決議事項】</p>	<p>別紙の通り、再任理事15名、新任理事 5 名、再任監事1名、新任監事1名を推举します。</p>

第 1 号議案

2024年6月25日
一般社団法人ラテンアメリカ協会

2023 (令和5) 年度事業報告 (4月～3月)

1. 2023 年実績概況（4 月～3 月）

(1) 会員数

- 今年度期首の会員数 372 (法人 73 社、個人 235 名、他) に対し、期末では 405 (法人 77 社、個人 251 名、他)、33 増 (法人 4 増、個人 16 名増、在外会員 11 名増、学生 2 名増)。

(2) 事業活動（詳細は第4項「事業活動」にて報告）

- 講演会・セミナー 開催（共催・後援 6回 549名除く）：27回・累計 1,533名 <57名/回>（前年度【共催・後援 2回 288名除く】24回・累計 1,437名 <60名/回>）
 - 大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム 開催：4回・累計 111名（前年同期 4回【107名】）
 - 米国インターナショナル・ダイアログとの共催セミナー開催：10月 25日 Public Meeting 192名（前年 Public Meeting 239名）
 - 季刊誌「ラテンアメリカ時報」：4回（春・夏・秋・冬：各 600部）
 - WEB 情報発信（HP・メルマガ・Facebook）
 - 毎週火曜日メルマガ発信（宛先：会員+講演会参加の非会員+二国間友好団体事務局・在中南米日本商工会議所事務局）
 - 「ラテンアメリカなるほどトーク」（非会員の参加費無料）の講演会継続

2. 組織活動

(1) 2023年度 定時会員総会

2023年6月28日(水) 正会員数323名

出席 3 名 (理事 3)、委任 181、議決權行使 18；計 202 名

● 議事

審議事項

第 1 号議案 2022 年度事業報告書の件・・・・【報告事項】

第 2 号議案 2022 度決算書類承認の件 【決議事項】

第3号議案 2023年度事業計画の件・・・・・【報告事項】

第 4 号議案 2023 年度収支予算の件・・・・・【報告事項】

第 5 号議案 理事選任の件 〔決議事項〕

(2) 理事会

① 2023 年度<紙上>理事会

2023年6月2日(金)

「2022年度事業報告・決算書類の承認（書面表決）」

② 2023年度第1回 理事会

2023年6月28日（水）

第1号議案：代表理事、業務執行理事の選定の件

第2号議案：顧問の選任の件

③ 2023年度第2回 理事会

1. 2023年度4～12月の事業執行状況の件

2. 2023年度4～11月の予算執行状況の件

3. 2024年度事業計画案（暫定）

4. ラテンアメリカ・カリブ研究所規程の変更

5. 会費規程の変更（学生1口年会費減額）

6. 事務局オフィスの駐日トリニダードトバゴ名義領事館への名義貸し

7. 代表理事および業務執行理事の職務執行報告

④ 2023年度第3回 理事会

1. 2023年度4～3月の事業執行状況の件

2. 2023年度4～2月の予算執行状況の件

3. 2024年度事業計画案

4. 2024年度予算案

5. 2024年度役員体制（案）

6. 代表理事および業務執行理事の職務執行報告

（3）常務理事会

＜常務理事会概要を理事・監事・顧問へメール案内中＞

① 2023年 4月 25日（火）

② 2023年 5月 31日（水）

③ 2023年 6月 21日（水）

④ 2023年 7月 24日（月）

⑤ 2023年 9月 6日（水）

⑥ 2023年 9月 25日（月）

⑦ 2023年 10月 20日（金）

⑧ 2023年 11月 27日（月）

⑨ 2023年 12月 20日（水）

⑩ 2024年 1月 29日（月）

⑪ 2024年 2月 27日（火）

⑫ 2024年 3月 15日（金）

（4）監査報告書

● 2023年度監査報告書：2024年6月4日付

理事会その他の重要な会議（リモート）に出席するほか、電磁的方法等で、理事等から事業報告を聴取、また重要書類を閲覧し業務の執行状況を監査し、各種計算書類と関連資料（財産目録等）、その他重要な決裁文書及び報告書の閲覧・確認するなど、必要と思われる監査を行った。

3. 会員状況：（ ） = 昨年同期

会員種別	2023.3末	2023.4.1	2024.3.31	増減	会費未納者
法人会員	77	73	77	4	0（同0）

スタートアップ法人会員	1	1	1	—	0
個人会員	249	235	251	16	13 (同 14)
国別団体会員	10	10	10	—	0 (同 0)
在外会員	35	32	43	11	4 (同 4)
賛助会員 (大使館)	14	14	14	—	0 (同 0)
賛助会員 (学生)	9	6	8	2	1 (同 3)
図書館	1	1	1	—	0 (同 0)
計	396	372	405	33	18 (同 21)

4. 事業活動

(1) 講演会

開催実績

	2018 年度	2019 年度	2020 年度 (4-9 月:ゼロ)	2021 年度	2022 年度 (4 月-3 月)	2023 年度 (4 月-3 月)
開催回数	18	16	12	15+共催 1	24+共催・後援 2	27+共催・後援 6
参加人数	892	711	592	985 (共催除 <)	1,437 (共催/後援 288 除く)	1,572 (共催/後援 549 除く)
収 益	594 千円	184 千円	30 千円	34 千円	78 千円	52 千円

① 4 月 4 日 「メキシコ政治経済情勢の現状と見通し」【参加者】62 名

福島教輝 駐メキシコ合衆国特命全権大使

② 4 月 20 日 なるほどトーク第 1 弾「英語混じりの新スペイン語スパングリッシュが
米国の公用語になる日～español in USA～」【参加者】46 名

瀧澤寿美雄 メヒココンサル・Spanglish Club 代表

③ 4 月 21 日 「急速に進む中南米の DX への取り組み」【参加者】33 名
荻原淳史 ディレクター NTT データブラジル

④ 5 月 11 日 「コロンビアの政治経済情勢の現状と見通し」【参加者】114 名
高杉優弘 駐コロンビア共和国特命全権大使

【後援】日本コロンビア協会

⑤ 5 月 19 日 「味の素グループの中南米事業～現状と展望～」【参加者】78 名
佐々木達哉 取締役執行役専務 味の素株式会社

⑥ 5 月 24 日 JICA 中南米 2 所長 講演会【参加者 72 名】
近藤貴之 ドミニカ共和国事務所長
野田久尚 ハイチ支所長

⑦ 5 月 25 日 なるほどトーク第 2 弾「GOOGLE MAPS で疑似体験するアルゼンチン発見」

【参加者】56 名

相川知子氏 在ブエノスアイレス、異文化コミュニケーター

- ⑧ 6月2日 「前川製作所の海外展開、特にラテンアメリカでの事業への取組みと今後」

【参加者 61名】

前川正雄 名誉顧問 兼 和敬塾長 前川製作所

- ⑨ 6月14日 「日本発祥プロバイオティクス製品の世界市場深耕と拡大」【参加者 41名】

根本篤社長 ブラジルヤクルト商工株式会社

- ⑩ 6月15日 なるほどトーク第3弾「日本-ブラジル-中米へと展開する地域警察協力」

【参加者 42名】

山口尚孝 JICA グアテマラ所長、

代田文 千葉県警察本部刑事部組織犯罪対策本部国際捜査課長補佐・警部

- ⑪ 6月23日 「小粒でもピリリと辛いパラグアイ」【参加者 56名】

中谷好江 駐パラグアイ特命全権大使

- ⑫ 7月26日 「目が離せない最先端『実験国家』 チリの動向」【参加者 104名】

渋谷和久 駐チリ共和国特命全権大使（後援：日本チリ協会、在チリ日本商工会議所）

- ⑬ 7月27日 なるほどトーク第4弾「パラグアイへの日本企業進出の実情と課題」【参加者 52名】

硯田一弘 代表 アディルザス、在パラグアイ）

- ⑭ 8月1日 JICA 中南米2所長 講演会【参加者 71名】

山口尚孝 所長 グアテマラ事務所

佐々木十一郎 前支所長 ベリーズ支所

- ⑮ 8月24日 なるほどトーク第5弾「天野芳太郎の夢」【参加者 45名】

島袋正克 代表取締役（株）伊島、在ボリビア、サンタクルス

- ⑯ 8月25日 「二国間クレジット制度（JCM）資金支援事業と関連する COP（国連気候変動枠組条約締約国会議）の動向について」【参加者 87名】

柏柳太郎 環境専門調査員 環境省地球環境局 国際脱酸素移行推進・環境インフラ担当参事官

室竹山典男 グループ長 公益財団法人 地球環境センター東京事務所事業第二グループ

宮本明佳 企画官氏 地球環境センター

【共催】 公益財団法人 地球環境センター

【後援】 環境省 社団法人 日本在外企業協会

- ⑰ 9月8日「『ポピュリズム大陸南米』4年半の現地取材で見た混乱と今後の展望」【参加者 61名】

外山 尚之 日本経済新聞社記者 前サンパウロ支局長

- ⑱ 9月26日 ブックトーク『世界の中のラテンアメリカの政治』（参加者 55名）

著者・講師：舛方周一郎 東京外国語大学講師

宮地隆廣 東京大学教授

- ⑲ 9月26日 なるほどトーク第6弾「視覚障害のJICA職員がパラグアイに見た障害と国際協力の可能性」【参加者 81名】

福地健太郎氏 (JICA パラグアイ事務所)

㉚ 9月29日 「日本ペルー外交関係樹立150周年記念セミナー」【参加者37名】

ベルト・セミナリオ 駐日ペルー大使

片山和之 駐ペルー日本大使

田中康晴ペルー三菱商事社長

【後援: 日本ペルー協会、日本在外企業協会、日秘商工会議所、日本ペルー経済委員会、東京商工会議所】

㉛ 10月18日 なるほどトーク第7弾「ドミニカ共和国の数学体験館のインパクトは如何か?」

【参加者37名】

牧内博幸氏 (前在ドミニカ共和国特命全権大使)

㉜ 10月18日 「グローバルサウスの政治経済学」【参加者53名】

吉崎達彦 チーフエコノミスト 双日総合研究所

㉝ 11月7日なるほどトーク第8弾「チリ対ペルー・ボリビアの太平洋戦争について」

【参加者57名】

ピーター藤尾氏 (連載「チリの風」執筆者)

㉞ 11月16日 JICA 中南米2所長講演会【参加者81名】

金川誠 所長 パナマ事務所

小澤正司 支所長 チリ支所

㉟ 11月22日 なるほどトーク第9弾「ホセ・ムヒカ大統領夫妻との桜と菊を通じた

“絆・KIZUNA”の信頼構築」【参加者110名】

眞鍋竜日郎 前駐ウルグアイ東方共和国特命全権大使

㉛ 12月6日 なるほどトーク第10弾「ペルーの青少年と汗を流した日々

～陸上競技指導を通して～」【参加者41名】

綿谷章氏 元JICA青年海外協力隊・元国際交流基金派遣スポーツ専門家

㉞ 12月8日「中南米のクリーンエネルギーセクターの現状と展望」【参加者78名】

大森苑美氏 三井物産戦略研究所 国際情報部 北米・中南米室/

宇野万里穂氏 同上

㉟ 1月12日「混迷する世界情勢と、企業のリスクヘッジ手段としての貿易保険の役割」

【参加者27名】 後藤勝良氏 株式会社 日本貿易保険 企画部 企画グループ

㉙ 1月19日「中南米地域のリチウム開発・政策の動向とその課題」【参加者64名】

小口朋恵 JOGMEC 金属企画部調査課 課長代理

㉚ 2月28日「二年目のルーラ政権と最新のブラジル情勢と日伯関係」【参加者160名】

【共催: 日本ブラジル中央協会】

林禎二 駐ブラジル日本国特命全権大使

㉛ 2月29日 JICA 中南米2所長報告会【参加者72名】

武田浩幸 アルゼンチン支所所長

小園勝 エルサルバドル事務所所長

③ 3月11日 「ミレイ新政権でアルゼンチンはどうなる」【参加者47名】

【共催：日本アルゼンチン協会、日亜経済委員会】

山内弘志 駐アルゼンチン日本国全権特命大使

③ 3月15日 「最近のベネズエラ政策に透けるバイデン政権の中南米への見方」【参加者39名】

峰尾洋一氏 丸紅経済研究所

(2) 法人会員異業種ラテンアメリカ情報交換会：2023年10月2日

於) 外務省 精励会 大手町俱楽部

【参加者 計20名：法人会員13名、協会役員7名】

講演：「ラテンアメリカ・カリブ（LAC）から見た中国）山田彰 常務理事

(3) 2023年度第9回IAD共催セミナー：

テーマ：『経済的強靭性の構築— 進化する日本の対ラテンアメリカ・アプローチ』

10月25日（水）日本時間午後10時—11時30分 Public (Open) Seminar

参加者：192名（ZOOM 152名、YouTube 40名）

(4) ラテンアメリカ関連団体連絡会議

① 2023年 6月2日 第42回ラテンアメリカ関連団体会議

② 2023年 9月1日 第43回ラテンアメリカ関連団体会議

③ 2023年12月1日 第44回ラテンアメリカ関連団体会議（対面）

④ 2024年 3月1日 第45回ラテンアメリカ関連団体会議

※登録団体・機関（17団体・2機関）

京都ラテンアメリカ文化協会、日本アルゼンチン協会、グアテマラ・マヤ文化協会、日本コロンビア友好協会、日本チリ協会、日伯協会、日本ペルー協会、日本ニカラグア友好協会、日本・パナマ友好協会、日本パラグアイ協会、日本ブラジル中央協会、日本ベネズエラ協会、日本ボリビア協会、メキシコ・日本アミーゴ会、日本・ドミニカ共和国友好親善協会、ラテンアメリカ協会、外務省中南米局、米州開発銀行（IDB）アジア事務所

(5) 新春懇談会：2024年2月28日（水）@三菱クラブ

在日中南米（21中20）大使館代表、日本・中南米国議員連盟（小渕会長以下4名）、外務省他官庁など106名参加

(6) ラテンアメリカ・サロン：2024年3月6日（水）@三菱クラブ

駐中南米（24中23か国）大使他74名参加

(7) その他（後援・協力事業：名義貸し後援などは除く）：

2021年4月～12月：なし

(8) 出版事業

ラテンアメリカ時報（協会季刊誌、年4回発行）

① 4月25日 2023年春号（1442）

「特集 ラテンアメリカの政治と社会を揺るがす高インフレ」

- ② 7月25日2023年夏号(1443)
「特集 日本のラテンアメリカ外交の150年」
- ③ 10月25日2023年秋号(1444)
「特集 ラテンアメリカで活躍するスタートアップ企業」
- ④ 1月25日2024年冬号(1445)
「特集 ブラジル ルーラ政権の1年」

(9) WEB 広報事業

- ① ホームページ
 - ・HP全面更新時期延期(2023年度→2024年第1四半期)
- ② メルマガ:新着情報を配信(定期:2024年1月より従来の毎週を隔週火曜日に変更)
 - ・講演会に参加登録した非会員への時限的メルマガ配信継続
 - ・二国間友好協会・在中南米日本商工会議所へのメルマガ配信

5. ラテンアメリカ・カリブ研究所

2023年12月27日改定

- ・「ラテンアメリカ・カリブ研究所規程」
- ・「リサーチ・アソシエート内規」

研究所所長	浜口伸明
研究顧問	細野 昭雄
研究顧問	堀坂浩太郎
シニア・リサーチフェロー	桑山 幹夫
シニア・リサーチフェロー	桜井 悅司
シニア・リサーチフェロー	渡邊利夫
シニア・リサーチフェロー	ホワイト 和子

(1) 事業

大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム

- ① 第23回例会
 - 【日 時】2023年4月17日(月) 12:00-13:30
 - 【場 所】新橋ビジネスフォーラム
 - 【出席者】23名
 - 【テーマ】「世界情勢激動化のなかラテンアメリカの存在をどう捉えるか—産官学からの視点提起」
 - 【発表者】パネリスト
 - (学) 東京大学大学院総合文化研究科:宮地隆廣教授
 - (産) 国際協力銀行常務執行役員、資源ファイナンス部門:稻葉裕部門長
 - (官) 外務省中南米局:小林麻紀局長

② 第24回例会

- 【日 時】2023年7月10日(月) 12:00-13:30
- 【場 所】日本工営株式会社 本社(2階会議室)

【出席者】29名

【テーマ】「ラテンアメリカにおけるインフラ開発に係る事業スキームの変遷と今後の協力」

【発表者】パネリスト

(産) 日本工営株式会社 営業本部 海外営業部 次長:橋本 真弓

(官) 経済産業省 貿易経済協力局 貿易振興課 総轄補佐:宮井 彩

経済産業省 通商政策局 米州課中南米室 総轄補佐:池田 健太

(学) 上智大学名誉教授:堀坂 浩太郎特別例会

③第25回例会

【日 時】2023年10月16日(月)12:00-13:30

【場 所】日鉄物産株式会社 本社ビル23階会議室

【出席者】31名

【自社紹介】「日本製鉄の海外インフラ・中南米への取組みについて」

発言者 日本製鉄株式会社プロジェクト開発部長 浦田 秀樹

プロジェクト開発第二課長 酒井 優

【商船三井(MOL) プレゼンテーション】

モデレーター(濱口伸明 ラテンアメリカ・カリブ研究所長)

【テーマ】

1)「中南米の海運と商船三井(MOL)での中南米での取り組み」

発表者(発言順):(ZOOM参加)

大胡 俊武 商船三井(MOL) 南米営業統括/ブラジル国代表

望月 康弘 MOL メキシコ国代表

淵上 拓也 MOL チリ国代表

2)「MOLの地域戦略と事業投資の方向性(対面参加)」

石部 陽介 財務部 副部長 M&A・事業投資担当

小笠原 秀 財務部 コーディネーター M&A・事業投資担当

黒沢 潤 財務部 スペシャリスト M&A・事業投資担当第

④第26回例会

【日 時】2023年1月15日(月)12:00-13:30

【場 所】三菱商事会議室

【出席者】28名

【テーマ】「2023年アルゼンチン大統領選挙とミレイ新政権」

【発表者】菊池 啓一氏

独立行政法人日本貿易振興機構 アジア経済研究所

地域研究センター ラテンアメリカ研究グループ主任研究員

(2) 研究論文(全て一般公開、日付:HP公開日)

①2023年4月8日

『ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート』

「歴史から見るラテンアメリカのかたち - その2:スペイン植民地時代の遺産」

渡邊利夫

②2023年6月19日

『ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート』

「歴史から見るラテンアメリカのかたち - その 3 : 独立しても実 現しなかった啓蒙思想」

渡邊利夫

③2023 年 7 月 6 日

『ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート』

「2030 年に向かって折り返し地点となる 2023 年時点でのラテンアメリカ・カリブ地域の
SDGs 進捗状況」

桑山幹夫

④2023 年 8 月 19 日

『ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート ILAC2023-06』

「中国のラテンアメリカ研究事情 一東アジア・ラテンアメリカ研究協力対話・

第 4 回国際会議からー」

浜口伸明 夔方周一郎

⑤2023 年 9 月 11 日

『ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート ILAC2023-07』

「歴史から見るラテンアメリカのかたち - その 4—多様性に富んだ世界になる物語ー」

渡邊利夫

⑥2023 年 10 月 10 日

『ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート ILAC2023-08』

「ラテンアメリカは強固な重要鉱物サプライチェーンを築けるか (上) :

世界の経済安全保障の観点から」

桑山幹夫

⑦2023 年 10 月 23 日

『ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート ILAC2023-092』

「ジェンダー・ギャップ指数にみるニカラグアの立ち位置と現状」

浜端 喬 (ラテンアメリカ・カリブ研究所研究員)

⑧2023 年 11 月 7 日

『ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート ILAC2023-10』

「中国のコロナ収束後のラテンアメリカへの関心」

ホワイト 和子 (ラテンアメリカ・カリブ研究所 シニアフェロー 【在ワシントン DC】)

⑨2023 年 11 月 9 日

『ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート ILAC2023-11』

「ラテンアメリカは強固な重要鉱物サプライチェーンを築けるか (下) :

リチウム産業を中心に」

桑山幹夫

⑩2023 年 12 月 12 日

『ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート ILAC2023-12』

「歴史から見たラテンアメリカのかたちーその 5 ー国のかたちができた 19 世紀」

渡邊利夫

⑪2024 年 1 月 30 日

『ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート ILAC2024-1』

「歴史から見たラテンアメリカのかたちーその 6 : ポピュリズムからみる政治」

渡邊利夫

以上

2023（令和5）年度決算書（案）

一般社団法人ラテンアメリカ協会

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	9,516,418	11,246,941	△ 1,730,523
未 収 会 費	140,000	150,000	△ 10,000
未 収 金	560,000	288,020	271,980
前 払 費 用	185,500	185,500	0
仮 払 金	248,377	127,718	120,659
流動資産合計	10,650,295	11,998,179	△ 1,347,884
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
差 入 保 証 金	625,000	625,000	0
その他固定資産合計	625,000	625,000	0
固定資産合計	625,000	625,000	0
資産合計	11,275,295	12,623,179	△ 1,347,884
II. 負債の部			
1. 流動負債			
預 り 金	16,268	19,268	△ 3,000
未 払 金	120,306	835,026	△ 714,720
前 受 会 費	2,183,000	2,680,000	△ 497,000
前 受 金	2,000	2,000	0
流動負債合計	2,321,574	3,536,294	△ 1,214,720
負債合計	2,321,574	3,536,294	△ 1,214,720
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
正味財産合計	8,953,721	9,086,885	△ 133,164
負債及び正味財産合計	11,275,295	12,623,179	△ 1,347,884

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①法人会費収入	8,935,000	8,655,000	280,000
②個人会費収入	2,548,500	2,466,000	82,500
③事業収入	348,270	325,920	22,350
④受託調査・セミナー収入	647,000	77,500	569,500
⑤広告収入	320,000	320,000	0
⑥フォーラム収入	250,000	300,000	△ 50,000
⑦雑収入	1,153,205	1,432,008	△ 278,803
受 取 利 息	125	125	0
雑 収 入	1,153,080	1,431,883	△ 278,803
経常収益計	14,201,975	13,576,428	625,547
(2) 経常費用			
① 事業費			
諸 謝 金	8,017,068	7,274,837	742,231
印 刷 費	4,018,866	3,898,961	119,905
通 信 費	2,035,000	1,815,000	220,000
旅 費 ・ 交 通 費	385,496	363,911	21,585
フ ォ 一 ラ ム 経 費	0	0	0
雜 費	134,026	0	134,026
減 価 償 却 費	1,162,520	1,094,935	67,585
	281,160	102,030	179,130
② 管理費	6,318,071	6,006,844	311,227
諸 謝 金	2,985,315	2,594,886	390,429
理 事 費	105,086	61,175	43,911
借 室 光 熱 費	2,251,127	2,258,265	△ 7,138
旅 費 ・ 交 通 費	220,890	193,560	27,330
備 品 費	0	13,990	△ 13,990
リ 一 ス 料	96,360	96,360	0
公 租 公 課 費	70,000	70,000	0
雜 費	589,293	718,608	△ 129,315
経常費用計	14,335,139	13,281,681	1,053,458
当期経常増減額	△ 133,164	294,747	△ 427,911
当期一般正味財産増減額	△ 133,164	294,747	△ 427,911
一般正味財産期首残高	9,086,885	8,792,138	294,747
一般正味財産期末残高	8,953,721	9,086,885	△ 133,164
II 正味財産期末残高	8,953,721	9,086,885	△ 133,164

財産目録

2024年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現 金	2,149	
普通預金		
三菱UFJ銀行 渋谷支店	9,514,269	
未収会費		
法人会員	140,000	
未 収 金		
2023年度分	560,000	
前払費用		
家賃2024年4月分	185,500	
仮 払 金		
2024年度経費他	248,377	
流動資産 合計	10,650,295	
2. 固定資産		
(1) その他固定資産		
差入保証金		
事務所敷金	625,000	
固定資産 合計	625,000	
資産合計	11,275,295	
II. 負債の部		
1. 流動負債		
預り金		
源泉所得税 従業員等	16,268	
未 払 金		
法人税等 千代田都税事務所	70,000	
2023年度 経費	50,306	
そ の 他		
前受会費	120,306	
法人会員 24件	1,050,000	
個人会員 124件	1,133,000	
前受金	2,183,000	
そ の 他		
流動負債 合計	2,000	
負債合計	2,321,574	
正味財産	2,321,574	
	8,953,721	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

① 計算書類及びその附属明細書の作成基準

一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成している。

② 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法による減価償却を実施している。

③ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式による。

附 属 明 細 書

1. 固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額
有形固定資産	什器備品	0	281,160	0	281,160	0
	合 計	0	281,160	0	281,160	0

収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異(決算-予算)	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①法人会費収入	8,585,000	8,935,000	350,000	
②個人会費収入	2,560,000	2,548,500	△ 11,500	
③事業収入	350,000	348,270	△ 1,730	
④受託調査・セミナー収入	100,000	647,000	547,000	
⑤広告収入	320,000	320,000	0	
⑥フォーラム収入	200,000	250,000	50,000	
⑦雑収入	1,300,100	1,153,205	△ 146,895	
受 取 利 息	100	125	25	
雑 収 入	1,300,000	1,153,080	△ 146,920	
事業活動収入計	13,415,100	14,201,975	786,875	
2. 事業活動支出				
①事業費				
諸 謝 金 支 出	7,120,000	7,735,908	615,908	
印 刷 費 支 出	3,750,000	4,018,866	268,866	
通 信 費 支 出	2,000,000	2,035,000	35,000	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	370,000	385,496	15,496	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	0	0	0	
フォーラム経費支出	350,000	134,026	△ 215,974	
雑 費 支 出	650,000	1,162,520	512,520	
②管理費	6,970,000	6,318,071	△ 651,929	
諸 謝 金 支 出	3,000,000	2,985,315	△ 14,685	
理 事 費 支 出	100,000	105,086	5,086	
借 室 光 熱 費 支 出	2,300,000	2,251,127	△ 48,873	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	500,000	220,890	△ 279,110	
備 品 費 支 出	100,000	0	△ 100,000	
リ 一 ス 料 支 出	100,000	96,360	△ 3,640	
公 租 公 課 支 出	70,000	70,000	0	
雑 費 支 出	800,000	589,293	△ 210,707	
事業活動支出計	14,090,000	14,053,979	△ 36,021	
事業活動収支差額	△ 674,900	147,996	822,896	
II 投資活動収支の部				
什 器 備 品 購 入 支 出	0	281,160	281,160	
投資活動支出計	0	281,160	281,160	
投資活動収支差額	0	△ 281,160	△ 281,160	
当期収支差額	△ 674,900	△ 133,164	△ 541,736	
前期繰越収支差額	8,461,885	8,461,885	0	
次期繰越収支差額	7,786,985	8,328,721	△ 541,736	

収支計算書に対する注記

収支予算書及び収支計算書は「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に準拠して作成している。

1 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

現金預金、未収会費、未収金、前払費用、前払金、仮払金、預り金、未払金、仮受金、前受会費、前受金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載する通りである。

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	11,246,941	9,516,418
未 収 会 費	150,000	140,000
未 収 金	288,020	560,000
前 払 費 用	185,500	185,500
仮 払 金	127,718	248,377
合 計	11,998,179	10,650,295
預 り 金	19,268	16,268
未 払 金	835,026	120,306
前 受 会 費	2,680,000	2,183,000
前 受 金	2,000	2,000
合 計	3,536,294	2,321,574
次期繰越収支差額	8,461,885	8,328,721

監査報告書

一般社団法人 ラテンアメリカ協会
会長 佐々木 幹夫 殿

一般社団法人 ラテンアメリカ協会
監事 牧内 博幸
監事 棟方 直比古

私ども監事は、2023年度の一般社団法人ラテンアメリカ協会の事業報告書、計算書類および附属明細書、理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監査の方法は、理事会その他の重要な会議（リモート）に出席するほか、電磁的方法等で、理事等から事業報告を聴取、また重要書類を閲覧し業務の執行状況を監査し、各種計算書類と関連資料（財産目録等）、その他重要な決裁文書及び報告書の閲覧・確認するなど、必要と思われる監査を行いました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告書および附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示していることを確認いたしました。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書およびその附属明細書は、会計帳簿の記載と合致し、本法人の収支及び財産の状況を適正に表示されていることを確認いたしました。
- (3) 理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (4) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。

以上
牧内博幸
(署名) 
棟方直比古
(署名) 

2024（令和6）年度事業計画

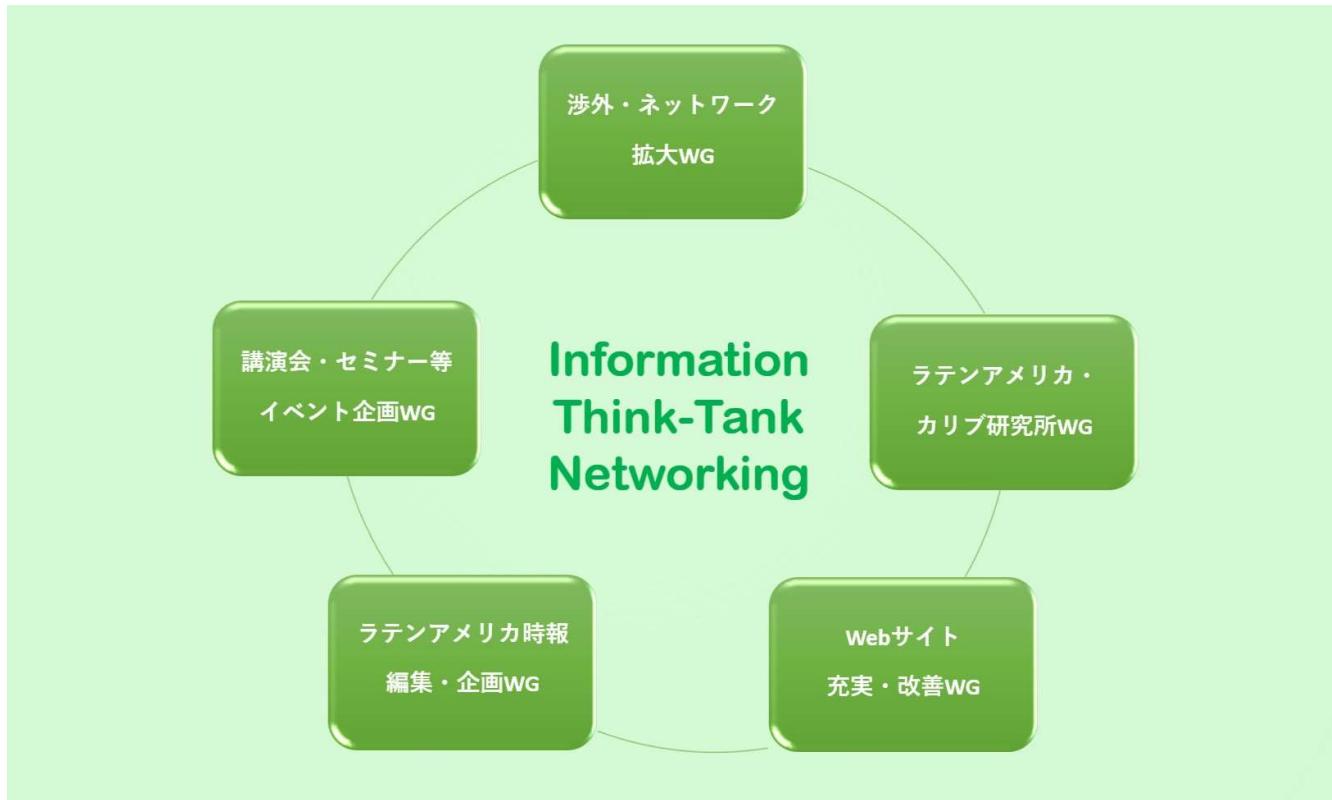
1. 基本方針

（1）現下の国際政治・経済情勢の劇的な変化や脱炭素化などの国際的トレンド、それに伴う日本とラテンアメリカ・カリブ地域を取り巻く状況の推移を踏まえ、今後とも我が国における同地域への関心の向上と関係の強化に向けて様々な事業を積極的に展開する。

（2）そのため、当協会としては、今後とも次の3つを主たる活動領域とする。

- ① ラテンアメリカ・カリブ関連情報の集積と発信—Information
- ② ラテンアメリカ・カリブ情勢等の研究と提言—Think-Tank
- ③ 出会いと交流の場の提供—Networking

（3）上述の活動を推進する上で、2022年度半ばから5つのワーキング・グループ（WG：図参照）での検討をベースに常務理事会で協議を行い、事業の推進を図ってきた。2023年度を通じ、各WGの活動も軌道に乗ってきたので、今年度もこの体制で活動の一層の充実を図り、理事会および会員総会の趣意を実現していく。また、協会活動発展に対応した財務面や体制面の強化については、長期的視点に立って引き続き検討を進める。



2. 主要な事業計画 (WG に即して)

(1) 渉外・ネットワーク拡大

5. 協会活動のより一層の発展のための体制の強化と収入の増大
6. 法人・個人会員の勧誘活動の強化 [目標 (含: 退会社・者) 法人 3 社、個人 15 人]
7. 主要省庁・政府系機関との関係強化
8. 駐日ラテンアメリカ・カリブ大使館との協力拡大
9. 大学・研究機関との関係強化
10. 日商、経団連 (特に国別経済委員会) との関係強化

(2) Web サイト充実・改善

- ①ホームページの継続的な充実・改善 (デザイン・コンテンツ・掲載方法等の見直し)
- ②ホームページ発信体制の強化 (WG と事務局との連携、ホームページのモニタリング等)
- ③メールマガジンの継続的改善 (コンテンツ、配信範囲等)
- ④SNS による発信 (事務局の体制と発信コンテンツを勘案しつつ活用)

(3) 講演会・セミナー等イベント企画

- ①政治、経済はじめ社会、文化、スポーツなど幅広い分野をテーマとするイベント (講演会等) 実施。企画準備を早めに行い、イベントの告知・広報を強化し、視聴者数の増加を図る。
- ②オンラインの活用により在外居住講師による現場感ある講演の実施。

- ③懇談会、ラウンドテーブル、ワークショップなど対面の肩肘張らないイベント（法人会員、駐日大使、地方関連団体、日系団体、スタートアップ企業など）の実施。
- ④共催・後援イベントの拡大（各国別協会、日外協、東商ほか）。イベント開催に際しマスメディア（新聞社等）との連携を追求。

(4) 『ラテンアメリカ時報』編集・企画

- ①会員の関心・ニーズに応えるよう誌面の内容・構成をより一層充実。
- ②「ラテンアメリカ・カリブの今を伝える～最新トレンドを現場感覚で～」との観点から開始した複数の新連載を引き続き充実。
- ③持続的かつ機能的な編集・発行体制の維持・強化。編集・企画 WG の円滑な活動。

(5) ラテンアメリカ・カリブ研究所

- ①研究所レポートの公開促進
- ②講演会および大来記念政策フォーラムの企画と実施
- ③リサーチフェローの増員による研究体制の拡充
- ④リサーチ・アソシエートの増員による若手研究者の育成

3. その他

(1) 事務局機能の強化（事業拡大に対応するマン・パワー確保）

以上

一般社団法人 ラテンアメリカ協会

2024年度 収支予算書

2024年4月～2025年3月

(単位：円)

科 目	2024年度 予算額	2023年度 決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①法人会費収入	8,795,000	8,935,000	△ 140,000	
②個人会費収入	2,538,500	2,548,500	△ 10,000	
③事業収入	350,000	348,270	1,730	
④セミナー収入	52,000	647,000	△ 595,000	
⑤広告収入	320,000	320,000	0	
⑥フォーラム収入	250,000	250,000	0	
⑦雑収入	1,300,100	1,153,205	146,895	
受 取 利 息	100	125	△ 25	
雑 収 入	1,300,000	1,153,080	146,920	
事業活動収入計	13,605,600	14,201,975	△ 596,375	
2. 事業活動支出				
①事業費				
諸 謝 金 支 出	7,833,000	7,735,908	97,092	
印 刷 費 支 出	3,850,000	4,018,866	△ 168,866	
通 信 費 支 出	2,235,000	2,035,000	200,000	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	588,000	385,496	202,504	
フォーラム経費支出	0	0	0	
雜 費 支 出	160,000	134,026	25,974	
②管理費				
諸 謝 金 支 出	6,970,000	6,318,071	651,929	
理 事 費 支 出	3,000,000	2,985,315	14,685	
借 室 光 熱 費 支 出	100,000	105,086	△ 5,086	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	2,300,000	2,251,127	48,873	
備 品 費 支 出	500,000	220,890	279,110	
リ 一 ス 料 支 出	100,000	0	100,000	
公 租 公 課 支 出	100,000	96,360	3,640	
雜 費 支 出	70,000	70,000	0	
事業活動支出計	14,803,000	14,053,979	749,021	
事業活動収支差額	△ 1,197,400	147,996	△ 1,345,396	
什器備品購入支出	0	281,160	△ 281,160	
投資活動支出計	0	281,160	△ 281,160	
投資活動収支差額	0	△ 281,160	281,160	
当期収支差額	△ 1,197,400	△ 133,164	△ 1,064,236	
前期繰越収支差額	8,328,721	8,461,885	△ 133,164	
次期繰越収支差額	7,131,321	8,328,721	△ 1,197,400	

一般社団法人ラテンアメリカ協会 2024年度 理事・監事候補<五十音順>

(○ 新任理事 5、◎ 重任理事 15、●退任理事 5)

理事	○	稻葉 公彦	スズキ株式会社、元日本貿易振興機構(JETRO)メキシコ事務所長
理事	●	稻葉 裕	大阪ガス株式会社 執行役員 資源・海外事業部 エネルギーインフラ・ソリューション部長、JBIC出身
理事	●	岩見 元子	元(一財)海外投融資情報財団 上席特別研究員
理事	◎	工藤 章	元三菱商事(株) 理事
理事	◎	桑山 幹夫	神戸大学経済経営研究所フェロー、元CEPAL上級経済問題担当官
理事	◎	今野 秀洋	元日本貿易保険理事長、元経済産業審議官
理事	●	桜井悌司	元関西外国语大学教授、元日本貿易振興機構(JETRO)監事
理事	◎	桜井 敏浩	徳倉建設(株)特別顧問
理事	◎	佐々木幹夫	元三三菱商事(株)会長
理事	○	佐々木 聰	国際協力銀行(JBIC)常務執行役員/産業ファイナンス部門長
理事	◎	佐藤 悟	元駐ブラジル・スペイン大使
理事	◎	山東 理二	元千代田化工建設(株) 社長、前(一財)エンジニアリング協会理事長
理事	●	眞鍋 竜日郎	元駐ウルグアイ大使、元日本貿易振興機構(JETRO)
理事	○	瀧川 晴信	株式会社三菱UFJ銀行 経営企画部 情報戦略室長
理事	◎	田中 秀治	米州開発銀行アジア事務所長
理事	●	富田 宏	イー・アール・エム日本(株)パートナー、Low Carbon Economy Transition(LCET)
理事	◎	濱口 伸明	ラテンアメリカ・カリブ研究所所長、神戸大学経済経営研究所教授
理事	○	笛田 千容	駒澤大学 総合教育研究部外国語第二部門(スペイン語)准教授
理事	○	古谷 朋彦	元駐グアテマラ大使、元日本貿易振興機構(JETRO)監事
理事	◎	堀坂 浩太郎	上智大学名誉教授
理事	◎	峯苦笑悟	元中国三菱商事(北京)金属部長、元伯国三菱商事リオデジャネイロ支店
理事	◎	村上 秀徳	元駐チリ大使、元農林水産審議官
理事	◎	山岸 豊生	日本キュー・バ経済懇話会 専務理事、前豊田通商(株)涉外部中南米地域担当部長
理事	◎	山田 彰	元駐ブラジル・メキシコ大使
理事	◎	吉田 憲	独立行政法人国際協力機構(JICA)コスタリカ支社長、前JICA中南米部長

監事	○	岩見 元子	元(一財)海外投融資情報財団 上席特別研究員
監事	◎	牧内 博幸	東京理科大学国際化推進センター長、前駐ドミニカ共和国大使
監事	●	棟方 直比古	前事務局長、元日本・東京商工会議所エクゼクティブ・コーディネーター

<参考> 2023年度理事・監事名簿

(2023年6月総会・理事会以降)

会長（代表理事）	佐々木 幹夫	三菱商事（株）元会長
副会長・理事	佐藤 悟	元駐ブラジル・スペイン大使
副会長・理事	濱口 伸明	神戸大学経済経営研究所教授、ラテンアメリカ・カリブ研究所所長
専務理事	工藤 章	元三菱商事（株）理事
常務理事	桜井 悅司	元関西外国語大学教授、元日本貿易振興機構（JETRO）監事
常務理事	桜井 敏浩	徳倉建設（株）特別顧問、（公財）海外日系人協会理事
常務理事	山田 彰	外務省参与、前駐ブラジル大使、元駐メキシコ大使
常務理事	吉田 憲	独立行政法人国際協力機構（JICA）コスタリカ支社長、前JICA中南米部長
常務理事	峯吉 彰悟	事務局長・元伯国三菱商事リオデジャネイロ支店、及び中国三菱商事（北京）金属部長
理事	稲葉 裕	大阪ガス株式会社 執行役員 資源・海外事業部、エネルギーインフラ・ソリューション部長 前（株）国際協力銀行 常務執行役員、資源ファイナンス部門長
理事	岩見 元子	元（一財）海外投融資情報財団 上席特別研究員
理事	桑山 幹夫	神戸大学経済経営研究所フェロー、元CEPAL上級経済問題担当官
理事	今野 秀洋	元経済産業審議官
理事	山東 理二	元千代田化工建設（株）社長、前（一財）エンジニアリング協会理事長、元三菱商事（株）執行役員
理事	眞鍋 竜日郎	前駐ウルグアイ大使、元日本貿易振興機構（JETRO）理事
理事	田中 秀治	米州開発銀行（IDB）アジア事務所長
理事	富田 宏	イー・アール・エム日本（株）パートナー、Low Carbon Economy Transition (LCET)
理事	堀坂 浩太郎	上智大学名誉教授
理事	村上 秀徳	公益財団法人食品等流通合理化促進機構会長、元駐チリ大使、元農林水産審議官
理事	山岸 豊生	日本キューバ経済懇話会 専務理事、前豊田通商（株）涉外部 海外涉外室中南米地域担当部長
監事	棟方 直比古	前事務局長、元日本・東京商工会議所エクゼクティブ・コーディネーター
監事	牧内 博幸	東京理科大学国際化推進センター長、前駐ドミニカ共和国大使

顧問

顧問	安藤 泰志	元駐ニカラグア大使
顧問	伊藤 昌輝	前日本ベネズエラ協会会长、元駐ベネズエラ大使
顧問	渥野井 茂雄	筑波大学名誉教授
顧問	河村 建夫	元衆議院議員、元内閣官房長官
顧問	田中 克之	（公財）海外日系人協会理事長、元駐スペイン大使
顧問	田中 径子	栗田工業社外取締役、元ウルグアイ大使
顧問	寺田 輝介	元駐韓国・メキシコ大使、元（公財）フォーリン・プレスセンター理事長
顧問	細野 昭雄	国際協力機構（JICA）緒方研究所シニア・リサーチ・アドバイザー、元駐エルサルバドル大使
顧問	森田 嘉彦	元（株）国際協力銀行（JBIC）副総裁

<ブランク>